

平成26年1月 保守作業(1/5)



新年の『仕事始め』は、芦屋町のD60 61からスタート。まずは芦屋町役場の担当者の方からご挨拶。



昨年はガラス破損などの「被害」に遭いました。2度と同じような事が起こらない事を願って、車体を磨きあげていきました。



D60 61号機
(遠賀郡芦屋町)

機関車のすぐ近くに大きな松の木が植えてあり、松ぼっくりや松葉が大量に落下していました。ホウキを使って一か所に集めていくと・・・



あっという間にご覧の通り。



結局、これだけの量になりました・・・(@_@)

D60 61号機
(遠賀郡芦屋町)



車体も、足元もスツキリ・サツパリしたD60 61。正月限定バージョンで、注連飾りが付いています。いつまでも美しい状態が続く事を願ってやみません。



昨年に続き、地元の方々のご厚意でぜんざいが振舞われました。

C11形260号機
(中間市)



修復を終えてからまもなく1年を迎えるC11 260。1年前の今頃は、まだ運転室周りの本格修復前だったと思います。「本当に修復出来るのか？」と思うくらいの深刻な状態から、よくここまでになったと思います。



屋外保管のため、どうしても傷みは出てきますが、定期保守作業により、傷みの小さなうちに手当てを施す事で状態を維持しています。



地元住民の方も参加頂いて、落ち葉やゴミを集めていきました。





こちらも周囲に木々が生い茂っている事もあって落ち葉が散乱していましたので、清掃作業を行いました。



C11形260号機
間市)

(中



本日の成果はご覧の通り。いったい何袋あるのでしょうか・・・？



公園も含めてスッキリサッパリしました。ヘッドライトも誇らしげに、堂々たる姿のC11 260。1年前の悲惨な姿は、全く想像出来ません・・・



先月は雨が降りしきる中、車体を磨いてあげる事が出来なかったので、この日は先月の分まで念入りに磨いていきました。



修復から年月を経て、各部の傷みが目立つようになってきた為、修復作業を行っています。



こちら、機関車の周りの木々から大量の落ち葉が。その落ち葉を一か所に集めて・・・



「たき火だたき火だ落ち葉焚き〜っ」と言う訳で、最近なかなか見られなくなった落ち葉焚きのシーンですが、何か様子が変です・・・



あっ、焼き芋食べてる！落ち葉焚きの火で焼き芋を作ったようですね。ひと仕事の後食べる焼き芋は、さぞかし美味しかった事と思います。

D51形225号機
(直方いこいの村)



汽車倶楽部に戻り、キューロクの磨き作業を始めた頃、雨が降り始めましたが、車庫内での作業のため全く問題になりません。油を含ませた布で各部を磨きあげていきました。

9600形59647号機
(汽車倶楽部)



こちらも正月限定バージョンです。毎年、管理車両／保管車両には注連飾りを付けています。去年は紹介しそびれてしまいましたので、今年はしっかりと”期間限定”の姿をお伝えしたいと思います。



雨が止んで、機関車の向こう側に虹がかかりました。良く見ると二重の虹になっています。

C61形18号機
(汽車倶楽部)



雨が止んだ所で、こちらも久々の「手入れ」。連結器部分に油を塗布しました。



ナンバープレートを磨くメンバー。機関車のお顔が真っ赤になっているのは、お酒の飲み過ぎ・・・ではなく、塗装面の荒れが目立った事から補修を行っているところです。現在、錆止め塗布の工程です。こちらの修復のようすは、後日特集ページで紹介させて頂きたいと思ひます。

番外編



作業終了後、参加メンバーで「お食事会」。今年も恒例『豚汁』が振る舞われました。



即席屋台、登場！ どうか「お好み焼き」を作っているようです。作っている方は口癖のように「将来は食べ物屋さんをやりたい」と仰っております。その為の特訓、でしょうか・・・？